

R7年9月 さくら組ドキュメンテーション『ブロックで作って遊ぶ』

普段、ブロックを用意すると、自分では作らずに保育士が作ったもので遊ぶことが主だったAちゃん。

しかし、この日はブロックで「恐竜をつくった」と言って保育士に見せてきた。



保育士が「すごいね、上手にできたね」と反応すると、それを聞いたB君やC君も真似してブロックで恐竜を作り始めた。

そして、友だちどうして作った恐竜の大きさを比べるなど遊びが広がっていった。

☆考察☆

これまで、保育士がブロックで作る姿を見たり、保育士が作ったもので遊んだりした経験が、Aちゃんの「自分も作ってみよう」という意欲につながった。

また、Aちゃんが作ったものに保育士が反応したことで、周りの子が興味を示し、遊びが広がっていった→子どもの遊び方を周りに知らせていくことの大切さをあらためて感じた。